

## SC混乱に対応

「この数年、港湾を取り巻く環境が激しく変化している。新型コロナウイルスの感染拡大によって、検査の強化や生産能力の低下、労働力の制限などによって、経験したことのない混乱を経験した」

「ロジスティクスでは、天候やストライキによって混乱が生じているというところがあるが、その影響は時間的にも地理的にも限定的だ。『対するコロナの場合は世界的に、そして長期的な影響が発生した。われわれはデジタル化や透明性の向上などを通じてサプライチェーンの混乱に対応してきている』

「今年度の物量の傾向をどうみるか。『今年1-9月期のロッテルダム港の貨物取扱量は前年同期比6%減少した。鉄鉱石やスクラップ

## 欧州のゲートウェイ

「欧州最大の港湾であるロッテルダム港は持続可能な港湾運営の実現に向け、環境対応やデジタル化の取り組みを拡大している。ロッテルダム港のシッパー・フォワーダー・コンテナ担当マネージャー、アナタ・ファン・デル・ライン氏に、同港の現状と今後の展望について聞いた。」

(聞き手 浦野綾 神頭久)

### ■海運大手の主な財務指標

	自己資本	最終利益(予想)	ROE	自己資本比率	FCF	PBR
日本郵船	26,471	2,200	8.3%	65.9%	1,196	0.81倍
商船三井	21,603	2,200	10.1%	54.6%	263	0.76倍
川崎汽船	15,837	1,050	6.6%	73.6%	1,044	0.90倍

単位=億円、2023年9月期、最終利益は24年3月期。PBRは26日午後3時時点  
 ROE=自己資本利益率、FCF=純現金収支、PBR=株価純資産倍率

## 海運大手 ROE 10% 視野へ

### 紅海迂回・円安 純利益押し上げ

日本郵船、商船三井、川崎汽船の海運大手3社の2024年3月期業績見込みで、財務指標の一つであるROE(自己資本利益率)が10%を越える期待が出ています。足元では紅海を迂回する海運会社が相次ぎ、コンテナ船の需要が回復するとの指摘も出てきた。円安効果による押し上げ効果もあり、純利益が上方修正されれば「ROE10%の壁」を越える可能性もある。

ROEは自己資本に対する利益率を示す指標で、ROEが10%を越えることは、株主の投資に対して会社が効率的に利益を上げていることを示す。ROEが10%を越えることは、株主の投資に対して会社が効率的に利益を上げていることを示す。

21年3月期時点の海運大手のROEは15.22%と東証プライム市場で一般的に求められる10%をクリアしていた。最大の理由は自己資本が増加した点にある。3社が出資するオシヤンネットワークエクスプレス(ONE)は20年、21年と連続してROEが20%を超え、前年比約5倍の約2兆1800億円に上った。海運大手は各約3割を占めている。21年2月から22年6月までに合計5回の配当を受け取り、配当額は1兆円を越えた。

「ROEは自己資本に対する利益率を示す指標で、ROEが10%を越えることは、株主の投資に対して会社が効率的に利益を上げていることを示す。ROEが10%を越えることは、株主の投資に対して会社が効率的に利益を上げていることを示す。」

## 環境・デジタル対応強化

「ロッテルダム港では、2030年までにCO2削減率50%、排出量削減率99.9%に55%削減を目標とする。環境への取り組みは50年以降はカーボニュートラルを目指している」

「長年準備期間を経て、現在では約70%のプロジェクトが進行中だ。『グリーン水素を中心に生産や輸送、輸入、利用などの一連のプロセスを取り組んでいる。今年にはブラジルやスペイン、ナミビアなどでもグリーン水素の大規模輸入に関する提携協定も締結した。』

「グリーン水素の製造に向けては、マースラクト2で複数の企業が、それぞれ200ギガワットのグリーン水素プラントを建設している。先行してセルが建設に着手している。『水素以外のプロジェクトでは、『オンタリオの大規模CCS(CO2回収・貯留)プロジェクトとしてポートランドを進めている。』

## 北米東航11月 10%増の155万TEU

### 米消費堅調 過剰在庫脱す

日本郵船が11月の北米東航18日間の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。日本郵船は、北米東航の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。

「日本郵船が11月の北米東航18日間の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。日本郵船は、北米東航の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。」

### ■アジア-米国航路 東航2023年11月と1-11月の荷動き

国・地域	東航(11月)	1-11月累計
日本	51,810(▲1.2)	576,744(▲3.4)
韓国	104,245(▲7.4)	1,082,816(▲2.0)
台湾	49,518(▲13.7)	581,150(▲19.4)
中国+香港	855,479(▲11.0)	9,411,568(▲16.3)
中国	850,897(▲11.2)	9,349,782(▲16.1)
香港	4,583(▲17.9)	61,786(▲38.2)
マカオ	30(▲66.2)	239(▲24.8)
ASEAN計	378,137(▲16.5)	3,996,601(▲13.2)
シンガポール	11,012(▲0.7)	123,481(▲9.8)
フィリピン	11,368(▲4.1)	118,302(▲16.7)
マレーシア	33,410(▲10.4)	336,575(▲16.0)
インドネシア	37,550(▲2.2)	414,566(▲19.2)
タイ	75,328(▲29.1)	820,854(▲5.1)
ベトナム	191,738(▲18.4)	1,981,773(▲15.0)
カンボジア	15,448(▲33.5)	182,600(▲8.0)
ミャンマー	2,284(▲90.3)	18,449(▲21.7)
南アジア計	114,436(▲7.9)	1,203,493(▲12.3)
スリランカ	5,512(▲0.6)	57,320(▲19.1)
バングラデシュ	7,626(▲12.0)	106,578(▲24.8)
パキスタン	10,942(▲2.0)	112,709(▲19.0)
インド	90,356(▲12.0)	926,886(▲9.2)
合計	1,553,655(▲10.3)	16,852,612(▲14.2)

速報値。単位:TEU、カッコ内は増減率、▲は減。米国内地域別荷動きの構成比は11月西岸53.4%、東岸35.3%、その他11.3%。米国内地域別荷動きの構成比は11月西岸53.4%、東岸35.3%、その他11.3%。

## 24年問題へ自主行動計画

### 国交・農水・経産省 103団体・事業者が策定

国土交通省、農水産省、経済産業省は26日、荷主企業や物流事業者、業界団体がトラックドライバ不足の深刻化を懸念し、2024年問題に備えるための自主行動計画を公表した。同日時点で20以上の業界団体が計画を策定し、荷役作業時間2時間以内への短縮、連発契約の適正化などの取り

「24年問題に備えるための自主行動計画を公表した。同日時点で20以上の業界団体が計画を策定し、荷役作業時間2時間以内への短縮、連発契約の適正化などの取り」

## アナタ・ファン・デル・ライン氏

「今年1-9月期のロッテルダム港の貨物取扱量は前年同期比6%減少した。鉄鉱石やスクラップの市況への影響が懸念されている。パナマ運河でも過剰在庫による通関手不足が長期化している。『一洋の東西』の主要運河が大きな制約を受けている。』

「今年1-9月期のロッテルダム港の貨物取扱量は前年同期比6%減少した。鉄鉱石やスクラップの市況への影響が懸念されている。パナマ運河でも過剰在庫による通関手不足が長期化している。『一洋の東西』の主要運河が大きな制約を受けている。』

## 環境・デジタル対応強化

「ロッテルダム港では、2030年までにCO2削減率50%、排出量削減率99.9%に55%削減を目標とする。環境への取り組みは50年以降はカーボニュートラルを目指している」

「長年準備期間を経て、現在では約70%のプロジェクトが進行中だ。『グリーン水素を中心に生産や輸送、輸入、利用などの一連のプロセスを取り組んでいる。今年にはブラジルやスペイン、ナミビアなどでもグリーン水素の大規模輸入に関する提携協定も締結した。』

「グリーン水素を中心に生産や輸送、輸入、利用などの一連のプロセスを取り組んでいる。今年にはブラジルやスペイン、ナミビアなどでもグリーン水素の大規模輸入に関する提携協定も締結した。』

## 北米東航11月 10%増の155万TEU

### 米消費堅調 過剰在庫脱す

日本郵船が11月の北米東航18日間の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。日本郵船は、北米東航の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。

「日本郵船が11月の北米東航18日間の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。日本郵船は、北米東航の貨物取扱量は、前年同月比10%増の155万TEUに達した。これは、米消費の堅調な回復と、過剰在庫の解消によるものである。」

## 24年問題へ自主行動計画

### 国交・農水・経産省 103団体・事業者が策定

国土交通省、農水産省、経済産業省は26日、荷主企業や物流事業者、業界団体がトラックドライバ不足の深刻化を懸念し、2024年問題に備えるための自主行動計画を公表した。同日時点で20以上の業界団体が計画を策定し、荷役作業時間2時間以内への短縮、連発契約の適正化などの取り

「24年問題に備えるための自主行動計画を公表した。同日時点で20以上の業界団体が計画を策定し、荷役作業時間2時間以内への短縮、連発契約の適正化などの取り」



## FOCUS ON EXCELLENCE

Discover our innovative and complete range of maritime services at:

+81 33527 9955  
 +81 8078072114  
 columbia@csmjpn.com

[www.columbia-shipmanagement.com](http://www.columbia-shipmanagement.com)

## Yatsushiro port 八代港

南九州の物流拠点

台湾まで輸出3日！輸入4日！台湾との距離を縮めるなら、『八代港』！



インセンティブ制度(一例)のご紹介

- 国際コンテナ利用拡大助成事業  
 【新規利用】20,000円/TEU  
 【継続利用】15,000円/TEU
- リーファーコンテナ利用拡大事業助成金  
 45,000円～35,000円/TEU  
 ※貨物により助成額が異なります(上限100TEU)
- 国際コンテナ輸出入促進トライアル事業  
 トライアル輸送費の2分の1(上限100万円)を助成

韓国航路 週2便  
 台湾航路 週2便  
 国際フィーダー航路(神戸) 週1便

八代港をご利用の際には... 助成金申請をお忘れなく!

お問い合わせ TEL: 0965-33-8777 MAIL: minato@city.yatsushiro.lg.jp